

memory in summer

〔自己紹介〕

桜井高校土木科 2 年 前田淳志 安田裕也

学校の行事で 5 日間働くことになりました。最初は不安でいっぱいでしたが作業日程をみるとそんなに難しいことはなかったのでとても安心しました。長いようで短い 5 日間でしたがとてもいい経験になりました。

〔作業日程〕

	8/8(月)	8/9(火)	8/10(水)	8/11(木)	8/12(金)
午前	概要説明	砂防ダム見学	河川の巡視	海岸工事見学	フィールド レポートの まとめ
午後	宇奈月ダム 見学	砂防ダム見学	河川の現場 測量	海岸施設見学	フィールド レポートの まとめ

〔活動報告・感想〕

8 月 8 日（月）午前 概要説明

1 日目の午前は前川建設専門官に 4 つの事業概要を説明してもらいました。わかりやすく説明してもらったおかげで黒部河川事務所の仕事を理解することができました。またビデオを見せてもらい海岸事業や砂防事業の様子などもわかり、とてもためになりました。

8 月 8 日（月）午後 宇奈月ダム見学



1日目の午後に宇奈月ダムに行ってきました。最初に久保ダム課長に宇奈月ダムについて説明してもらいました。宇奈月ダムは水位が上がると自然に水がダム上部から流れていくという仕組みで、洪水調節と排砂を行える珍しいダムだと教えてもらいました。次に船に乗ってうなづき湖を見学しました。宇奈月ダムを造ったことによって山を行き来できなくなった猿のために「猿橋」という橋がありました。猿橋は多いときで20匹ぐらいの猿が渡るそうです。

8月9日（火）午前・午後 砂防堰堤見学

宇奈月駅からトロッキ電車に乗って砂防堰堤に行きました。僕たちはトロッキ電車に乗るのが初めての体験でした。山の景色がとてもきれいでした。また大きい雪の塊が残っていたので驚きました。砂防堰堤へ向かう途中の道は7月に起きた土砂崩れで通れなくなっていて回り道をして現場に向かいました。砂防堰堤は祖母谷に設置してあるだけで7つあり、その1つ1つが雨で流れてきた土砂を溜めることによって災害を防いでいるそうです。



祖母谷最上部の砂防堰堤



7月に起きた土砂崩れ

8月10日（水）午前 河川の巡視

黒部川出張所で河川の巡視をしました。途中、川の中にテレビやタイヤが不法投棄されていました。原因は家電リサイクル法によってテレビなど処分する際にお金がかかるせいで、不法投棄が多くなったそうです。

8月10日（水）午後 測量

黒部川の地形を測量しました。以前の測量で得た結果と比べて侵食の具合を調べたりするそうです。最初は初めて使う機械だ



ったので、うまく使えませんでしたでしたが測量会社の方に教えていただき測量することができました。測量会社の方は据え付けや観測をととてもスムーズにされていたので、すごいと思いました。

8月11日（木）午前・午後 海岸現場 工事見学

まず入善海岸出張所へ行き、海岸事業の説明を聞きました。海岸の写真を見ると、地域ごとに特徴的な構造物があり、その1つ1つを説明していただきました。入善海岸出張所には海岸に設置したカメラから現在の様子を見ることができました。次に海岸へ行き工事の様子を見学しました。海岸の近くにブロックを造っているところがあり、型枠にコンクリートを流し込んで振動を与えて均一化させているところを見学できました。たくさんの形の違うブロックが、そこで造られていました。また離岸堤を設置する現場も見学できました。潜水士の方が海の中で、土台となる石を均しているところでしたが、海の中なのでどのように工事が進んでいるのかが分かりませんでした。何気ないところで、波を防ぐための工事が行われていて、その重要性を理解することができました。他にも新型離岸堤というものがあり普通の離岸堤とは違い下が空洞になっているので波を止めることもでき、砂も堤防で止めず海岸まで運べるという利点があります。しかし費用は普通の離岸堤に比べ高いので、あまり造れないそうです。



離岸堤

副離岸堤



新型離岸堤

〔こんなところにも行ってきました！〕



このダムは造りかけのダムで落石によって工事が見送られているダムです。



波によって真ん中のブロックが吹飛ばされて新しく造った離岸堤です。



これはブロックを造る工事現場で型枠に生コンを直接流しこみ、そこでブロックを造ります。



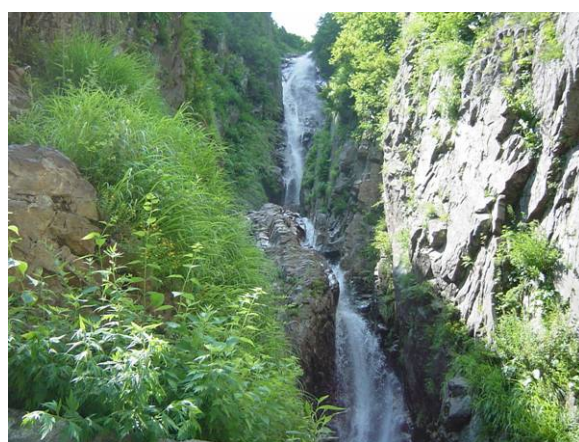
これは緩傾斜堤というもので傾斜を利用して波を止めるという仕組みになっています。真ん中に穴が空いていますが、それは波の力によって浮かないようにするためです。



←河川から、こんなにたくさんの流木が流れてきていると知り驚きました。



↑これは右上の写真と違い離岸堤の高さが少し低くなっています。その理由は砂は矢印の方向に動いていくので、土砂が流れてくる河川の近くの離岸堤を低くすることで、砂を広く運ばれるようにしています。



これはカモシカ谷という谷で、とてもきれいでした。名前の由来は昔この谷をカモシカが跳んでいたというところからきています。

〔黒部河川事務所のみなさんへ〕

短い間でしたがお世話になりました。この5日間は僕たちにとってとても貴重な体験でした。この経験を活かし将来の進路に役立てていきたいと思います。

本当に5日間ありがとうございました。